

I Love Churui

I ❤ ちゅうるい

6・7
2023 Vol.549

6月8日(木) 幕別町畜産まつり開催。黒毛和種の経産牛・未経産牛部門において最高位賞を忠類がW受賞!

Contents

幕別町畜産まつり	2~3
忠類和牛改良組合 視察研修	4
忠類ゆり根耕作組合 中学校へ出前授業	5
農事組合視察研修	6
1番牧草収穫作業	
アライグマ注意喚起	7
青年部 管内視察研修の実施	
ピックアップ農協職員	8
第5~6回理事会	9
JAって何? ~今こそ知っておくべき! 農業協同組合~第八回	10~11
令和5営農年度6月末クミカン実績 (JA総計)	12~13
普及所センター技術情報	14
生乳生産状況表	15



令和五年度 幕別町畜産まつり開催！

六月八日（木）、幕別町南勢牧場多目的広場にて幕別町畜産まつりが開催されました。

新型コロナウイルスの影響により、約三年ぶりの開催となり、当日は太陽が照り付け空模様の中実施されました。



開会ならびに閉会の挨拶をする多田酪農部会長

シーアドバンスの二戸が参加し、計三頭の出陳となりました。

未経産牛ジュニアミドルクラスにおいて、向井牧場の



【乳用牛2オジュニアクラス】
(株)ヨッシャードバンス
『ヨツシーエースドックマリア』



【乳用牛未経産の部】
(有)向井牧場
『スタートユウ5707』

『スタートユニクス5707』が一等を獲得しました。二オジュニアクラスにおいて、ヨッシャードバンスの『ヨツシーエースドックマリア』が一等一席を獲得しました。

黒毛和種の部は、十勝農協連酪農畜産課の山中氏による審査のもと行われました。

忠類から、谷川肇氏、ファーストブリングアップグアッブ、ヨッシャードバンスの三戸が参加し、計七頭の出陳となりました。

中でも、第十三部（未経産十一か月～十四か月未満）に出陳のヨッシャードバンス『よしじん22の3』（※）が未経産牛最高位賞を獲得しました。

した。

次いで、ファーストブリングアップグアッブ『えび4の15』が準最高位賞を獲得しました。

忠類からは向井牧場とヨツシーアドバンスの山田敏明氏による審査のもと行われました。

乳用牛の部は、幕別町の酪農家

山田敏明氏による審査のもと行われました。



【黒毛和種 経産の部】
谷川肇さん
『はなかつ294』



【黒毛和種 未経産の部】
(農) ファーストブリングアップグアッブ『えび4の29』

ファーストブリングアップグアッブ『えび1の37』（※）は経産牛最高位賞を獲得しました。
（※）表紙にて掲載。

幕別町畜産品評会主な成績

黒毛和種の部	未経産	準最高位 サンフュールドファンタジーリージュ	藤原 広	J Aさつない	第8部	(2歳経産シニアクラス)
最高位 よしそん22の3						
黒毛和種の部 経産						
最高位 えびーの37						
準最高位 えび4の15						
F・B 蛭	J A 忠類	第13部 雌 (11ヶ月以上14ヶ月未満)				
黒沼 茂樹	J A 忠類	第15部 雌 (17ヶ月以上20ヶ月未満)				
J A 幕別町						
F・B 蛭	J A 忠類	第16部 雌 (経産牛)				
黒沼 茂樹	J A 忠類	第16部 雌 (経産牛)				
J A 幕別町						

また、『乳製品消費拡大キヤンペーン』ブースには、気温が高かつた事もあり、牛乳だけではなく、よつ葉の「のむヨーグルト」などでのどの渴きを潤す来場者の姿も見受けられ、ブースは賑わいを見せていました。

来年も積極的なご参加をお待ちしています。

来年も積極的なご参加をお待ち



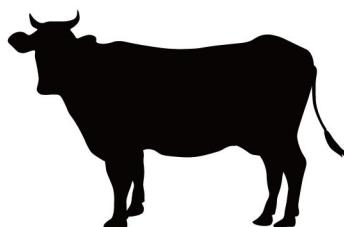
【未経産の部 準最高位賞】
(農) ファーストブリングアップ蛇
『えび4の15』

忠類成績表

3	2	3	4	5	6	7
等 等 等	等 等 等	等 等 等	第1部 第2部 第3部	未経産牛 未経産牛 未経産牛	ジユニアミドルクラス ジユニアミドルクラス ジユニアミドルクラス	向井牧場 向井牧場 向井牧場
1等1席 えび1の33 はなかつ2の4	1等1席 えび1の33 はなかつ2の4	1等1席 えび4の29 はなくに363	1等1席 えび4の15 (雌)	1等1席 えび4の15 (雌)	コツシーエースブリンクマロア (株)コツシーアドバンス (株)コツシーアドバンス (農)ファーストブリンクアップ蚝 谷川 肇	コツシーエースブリンクマロア (雌) 未経産牛11ヶ月以上14ヶ月未満 未経産牛14ヶ月以上17ヶ月未満 未経産牛17ヶ月以上20ヶ月未満 未経産牛17ヶ月以上20ヶ月未満 未経産牛17ヶ月以上20ヶ月未満 未経産牛17ヶ月以上20ヶ月未満
3 等 等	2 等 等	3 等 等	4 等 等	5 等 等	6 等 等	7 等 等



【乳製品消費拡大キャンペーン】
沢山の来場者でいっぱいでした！





忠類和牛改良組合～北海道大学研究牧場「静内研究牧場」研修視察～

五月三十一日（水）に、忠類和牛改良組合（姥原一組合長）は、北海道大学の北方生物圏フィールド科学センター「静内研究牧場」にて視察研修を行いました。

参加者は組合員と事務局に加え、十勝農業改良普及センター南部支所の富永普及員にもご同行いただき、計七名での実施となりました。

牧場長の河合正人氏より、施設や使用管理についての概要説明を受け、放牧地の見学で、かつては戦争用の馬を育



牧場長の河合 正人氏

成するための施設として使用されてきました。

戦後に北大の研究牧場となり、傾斜地の草地化を目指して、一九六〇年代にニュージーランド式の蹄耕法草地を実施して、八年程で牧草地化に成功しました。

草地にダニが多いため、ホルスタイン種の飼育が難しいことから、ヘレフォード種を飼育していましたが、経営改



静内研究牧場の放牧地での様子



静内研究牧場のお肉を使った「天政」のステーキ

善を目指し、日本短角種のみの飼育となりました。

季節繁殖で、三ヶ月ごろに生まれた子牛は、十月末まで親子で放牧を行つており、下牧してから親を離します。

親付け期間が長いため、離乳後にダメージを受けやすく、乳房炎が多くなってしまうのを、どうやつて改善するかが今後の課題だと話していました。

河合氏は「短角はどんな草でも食べてくれて、ダニにも強い。」と話しており、実際に短角和種を見た組合員の方は「牛らしい牛だと感じる」

「ほとんど草だけで飼育してここまで大きくなるのであれば、なんだかやる気が出た」と話していました。

昼食は、静内研究牧場のお肉を扱う「天政」でステーキを食べ、親睦を深め合いました。

以前は餌として外国産の濃厚飼料を与えていましたが、現在は十勝産の小麦と、江別産のふすまを与えており、地元の餌を与えている北大の日本短角和種としてブランド化しました。

本短角和種としてブランド化しました。

餌を変えて肉の味の変化などはほとんど無かつたそうです。

河合氏は「短角はどんな草でも食べてくれて、ダニにも強い。」と話しており、実際に短角和種を見た組合員の方は「牛らしい牛だと感じる」「ほとんど草だけで飼育してここまで大きくなるのであれば、なんだかやる気が出た」と話していました。



忠類ゆり根耕作組合 ～忠類中学校でかきゆり制作体験授業の実施～

忠類ゆり根耕作組合（組合長大坂崇士）は四月二十八日（金）忠類中学校の「総合的な学習」において、二・三年に対してかきゆり制作の体験授業を行いました。



ピーラーで鉢を削る生徒



かきゆりを真空にして完成！

大坂組合長と熊谷職員が講師として、授業の初めに忠類ゆり根の概要とかきゆりについて説明を行いました。玉の状態では販売できないゆり根をかきゆりとして販売することで、廃棄する部分を減らし、食品ロスの解決に繋がるとされています。

本学習は地元の特産品であるゆり根の理解をより深めることを目的としており、今後も引き続き、削る作業に生徒たちは苦戦しながら

測り袋に詰め、最後に真空機で完成したかきゆりは作った生徒が持ち帰り、その日の晩御飯として食卓に並んだのではないかと思っています。

江戸時代に入り、水分が多いところから「水瓜（すいか）」となり、『本朝食鑑』（ほんぢょうしょつかん）という書物では次のような記述があります。

「水瓜とは、すなわち西瓜のことである。水分の多いところから水瓜と名付ける」とあります。なにしろ

スイカの約90%は水なのです。

夏は冷やしたスイカが大歓迎されるのは江戸時代も現代も同じです。問題はどこで冷やすかで、次のように川柳があります。



大騒ぎ 井戸へ西瓜を下女落とし
下女（女中）が井戸の中へ、どぼーんとスイカを落つことして大騒ぎ。

スイカが、原産地のアフリカからシルクロードを経て中国に入り、日本へ伝わったのは戦国時代の後期とみられます。当初は西から伝来したので「西瓜（せいか）」と呼ばれていました。

江戸時代のスイカの利用法について、『本朝食鑑』には「全体に捨てた。鉢を削ったゆり根を水で洗い、脱水して一袋一〇〇グラムずつ測り袋に詰め、最後に真空機で真空パックにし完成となります。

江戸時代に入り、水分が多いところから「水瓜（すいか）」となり、『本朝食鑑』（ほんぢょうしょつかん）という書物では次のような記述があります。

スイカは利用価値の極めて高いくりぬか漬けにしたりする場合が少なくありませんが、これらは江戸時代以来の台所の知恵といつてよいです。

捨てるところがないスイカ

永山久夫の健康万歳！

食文化史研究家・日本の長寿食研究家・永山久夫



らも、講師の指導を受けながらたくさんのかきゆりを作りました。

場所をJA農産物貯蔵庫へ移動し、袋に詰める作業を行いました。

スイカが、原産地のアフリカからシルクロードを経て中国に入り、日本へ伝わったのは戦国時代の後期とみられます。当初は西から伝来したので「西瓜（せいか）」と呼ばれていました。

江戸時代のスイカの利用法について、『本朝食鑑』には「全体に捨てた。鉢を削ったゆり根を水で洗い、脱水して一袋一〇〇グラムずつ測り袋に詰め、最後に真空機で真空パックにし完成となります。

江戸時代に入り、水分が多いところから「水瓜（すいか）」となり、『本朝食鑑』（ほんぢょうしょつかん）という書物では次のような記述があります。

スイカは利用価値の極めて高いくりぬか漬けにしたりする場合が少なくありませんが、これらは江戸時代以来の台所の知恵といつてよいです。

捨てるところがないスイカ

夏の間中、どこの町内でも発生する大事件でした。

江戸時代のスイカの利用法について、『本朝食鑑』には「全体に捨てたところは一つもない。皮および白肉は、煮て食べたり、香の物にしたりする。紅肉は生食する。種子は、よくいって食べる」とあります。



令和五年度 農事組合長会視察研修を実施



札幌防災センターにて



クボタ アグリフロントにて

六月八日（木）～九日（金）、一泊二日の日程で農事組合長会（岩谷史人会長）は、事務局を含む計九名で管外への農事組合長視察研修を実施しました。

初日は、札幌市内にある「札幌防災センター」を視察しました。施設内では、様々な災害の疑似体験をするコーナーがあり、防火・防災に関する知識や、災害発生時の行動を学びました。

救急体験コーナーでは、訓練用

の人形を用いて、実際の心肺蘇生法やAEDの使用方法を学びました。

その後、北広島市内に新設された北海道ボールパークFビレッジエリア内にある「クボタアグリフロント」を視察しました。

一面ガラス張りの施設では、「『食と農業』の未来を志向する仲間づくり」を目的に造られた農業学習施設となっています。

視察当日はグランドオープン前

であつたため、一部のみの見学となりましたが、実際に屋内栽培されている野菜の様子も見学することができました。

視察後は、エスコンフィールドへも足を運び、日本ハムファイターズ対広島東洋カープの試合観戦をしました。

二日目は、北広島市内にある「北日本スカイテック株式会社」を視察しました。

忠類農協とも取引のある「株式会社サングリン太陽園」の子会社であり、産業用無人ヘリコプターや農業用ローンなどの販売やメンテナンス、教習、コントラクターなど幅広い事業展開をしています。

担当者より、スマート農業に向けた取組みについて実際に使用している産業用無人ヘリコプターやローンを用いて、それぞれの特徴の説明を受けました。

視察当日は雨天により、屋外でのデモフライトはできませんでした。



北日本スカイテック(株)にて

たが、屋内で小型ドローンを使つたサッカーなどをして実際に機械を操縦する体験ができました。

今後の担い手不足・労働者不足を補うため、スマート農業は必要な技術であると再認識しました。

たが、屋内で小型ドローンを使つたサッカーなどをして実際に機械を操縦する体験ができました。

一番牧草の収穫作業終了!

忠類地域における今年度の一番草収穫作業が六月上旬に開始されました。

昨年は長雨の影響によりなかなか作業が進まない状況ではありました。しかし、本年は好天が続いたことにより、順調に作業が進みました。

農協のコントラクター事業におきましては、六月六日から開始し、七月五日に全1561町の収穫作業を終えることができました。

収穫作業に従事された皆様におかれましては、大変お疲れ様でした。

例年、二番草・デントコーン時期は台風や梅雨の影響を受ける可能性が高い為、好天に恵まれることを期待しております。



農協コントラクター 収穫作業



(農) ウエストフィードアシスト収穫作業

忠類地域内で『アライグマ』による被害が多発しております。

中でも、畑の作物や畜舎内に保管している飼料袋を破つて自身が食べられる「食害」が被害の大半を占めています。

また、感染力の高い「サルモネラ」などの菌の媒介にもなつており、アライグマの糞尿によつて、気づかぬうちに農場内に伝播してしまう可能性もあります。

令和四年度の忠類地域での捕獲数は五十七頭（前年度二十八頭）報告されており、本年三月～六月現在で既に二十八頭の捕獲があることから、近年増加傾向にあることが見てとれます。

アライグマによる牛の飼料や農作物の食害が確認された場合は、幕別町役場 忠類総合支所経済建設課までご相談下さい。

獣害被害拡大中! かわいい顔にご用心!



前足には鋭い爪をもっています



日和地区にて捕獲されたアライグマ



管内視察研修の実施

J A 忠類青年部（部長渡邊貴文）は、七月六日（木）に北愛国交流広場にて開催された「国際農業機械展in帯広」の視察を実施しました

農業機械の先端技術や環境農業への情報発信の場として、四年に一度の開催しており、本年で三十五回目となります。

開催期間は五日間あり、本年も多くの企業が出展し、各種機械の展示を行つておりました。

視察は開催初日であつたため、大勢の方が足を運んでおり、会場は大賑わいを見せっていました。参加した部員たちは普段馴染み



Instagramを開設しました！活動だけでなく、部員の日常も発信します
フォローよろしくお願いします



あるメーカーや作業機械だけではなく、地元にはない企業や最新機種に興味津々な様子で展示ブースを回っていました。

機械展視察後の昼食の場では、各ブースを周つた感想や入手したグッズやパンフレットを確認する部員の姿も見受けられました。



ピックアップ 農協職員

PICK UP!



名	前
所属部署・担当	當農部 生産販売課農産担当
入組年	令和三年四月
趣味	釣り・スノーボード・サーカルアート作り
特徴	FINN・キャンプ・バイク
近況	毎週釣りの大会に出場中。体力勝負です。
目標	いつもお世話になつております。販売業務だけでなく、栽培技術についても日々学びながら自分の糧としております。少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。

皆様へ一言

これから夢や目標

仕事も趣味も精一杯頑張りながら、色々なことにチャレンジしていくたいです。

いつもお世話になつております。販売業務だけでなく、栽培技術についても日々学びながら自分の糧としております。少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。

第五回 理事会

開催日 令和五年五月三十日

付議事項

- 議案第一号 固定資産の取得について（當農部）
- 議案第二号 J Aバンク経営戦略シートの策定について
- 議案第三号 不良債権の処理方法について
- 議案第四号 出資金の譲渡承認について
- 議案第五号 要員計画について
- 報告事項
- 一 農産物生育状況並びに生乳生産状況について
- 二 生乳生産者会議の意見集約について
- 三 令和四年度良質乳確保対策支援事業の実績報告について
- 四 幕別町畜産祭りの開催について
- 五 中小酪農経営等生産基盤維持・強化対策事業の需要額報告について
- 六 畜産ICT事業および楽酪

- 議案第一号 令和五肥料年度肥料取扱要領について
議案第二号 営農計画の変更承認並びに貸越極度額及び組合員勘定供給限度額の変更承認について
議案第三号 生乳生産減産に伴う事業計画の変更について
議案第四号 延滞債権回収に伴

第六回 理事会

開催日 令和五年六月二十三日

付議事項

- 一 農産物生育状況並びに生乳生産状況について
- 二 生乳生産者会議の意見集約について
- 三 令和四年度良質乳確保対策支援事業の実績報告について
- 四 幕別町畜産祭りの開催について
- 五 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の配分報告について
- 六 新規参入者の就農に向けた取り進めについて（スケジュール）
- 七 J A財務モニタリング実施報告について
- 八 J A体制整備モニタリング実施報告について
- 九 第1・四半期余裕金運用実績について
- 十 コンプライアンス事故報告

報告事項

- 一 農産物生育状況並びに生乳生産状況について
- 二 令和五年度個人別生乳生産目標数量の設定について
- 三 国産粗飼料利用拡大緊急対策事業の実施に伴う交付額について
- 四 酪農生産基盤確保対策事業の実施に伴う交付額について
- 五 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の配分報告について
- 六 新規参入者の就農に向けた取り進めについて（スケジュール）
- 七 J A財務モニタリング実施報告について
- 八 J A体制整備モニタリング実施報告について
- 九 第1・四半期余裕金運用実績について
- 十 コンプライアンス事故報告

う弁済金充当順序の変更について
十一 第1・四半期監事監査の結果報告について

十二 内部監査結果について
十三 各連合会役員及び十勝管内農業団体・各種委員会の役員・委員報告について

十四 人事の発令について
十一 第1・四半期監事監査の結果報告について

十二 内部監査結果について
十三 各連合会役員及び十勝管内農業団体・各種委員会の役員・委員報告について

十四 人事の発令について

當農部生産販売課農産担当

坂本 浩美

（六月三十日付退職）

お世話になりました。





J A って何?

～今こそ知つておくべき～農業協同組合～ 第八回

(13) ロツチデール原則がすべての原点

18世紀後半、イギリスで産業革命が起り、資本家や富裕層という人達があらわれました。街中には粗悪品があふれ、量目のごまかしが横行しており、ロツチデールという小さな町の織物職人がその生活を守るために「ロツチデール公正先駆者組合」を設立しました。彼らは協同組合として自ら守るべき事項を定めており、これがその後「ロツチデール原則」と呼ばれるものとなりました。ホリヨークという人が書き留めたロツチデール原則は次の14の項目から成り立っています。

- ①組合は主として、自らの出資金により開店する。
- ②可能な限り、純粋な食料品を供給する。
- ③目方や分量をごまかさない。
- ④市価で販売し、商人と競争しない。
- ⑤掛け売りをせず、労働者の負債を防止する。
- ⑥剰余は購買高に応じて、組合員に分配する。
- ⑦組合員をして利益を組合の銀行に貯蓄せしめ、節儉を教える。
- ⑧出資金に対する利子を5%に抑える。
- ⑨職場において得た利益は、賃金に比例して分配する。
- ⑩全余剰の2.5%を教育に充てる。
- ⑪役員の任命や議決に対し、一人一票の民主的評決権を持つ。
- ⑫犯罪や競争のない産業社会を建設するため、協同組合の商工業を発展させる。
- ⑬卸売購買組合を創設し、純良確実な食料品を供給する。
- ⑭協同運動を自助の精神で行い、勤勉な者に道徳と能力を保証する新しい社会の胚種の組織とする。

この14項目をすべて守ることが協同組合として必要なことであり、このどれか一つでも欠けてはいけないものです。



⑯ごまかさず、商人と競争しない

ロツチデール原則の3番目に「目方や分量をごまかさない」、4番目に「市価で販売し、商人と競争しない」という内容があります。産業革命後のイギリスにおいて、商人は利潤の追求を優先し、街中に粗悪品、有害食品、量目不良品が溢れていきました。

28人の織物職人で設立したロツチデール公正先駆者組合は、1人1ポンドを拠出し、28ポンドの出資金をもつて生活物資を共同で購入しました。当初は小麦粉、バター、砂糖、オートミールの4品目だけでしたが、4品ともに良品質で量目も確かなものであると評判になりました。

これに対しても商人は商品の品質を落としたり、その量目をごまかしたりして価格を下げて対抗してきましたが、

は決してこうした価格競争によることはありませんでした。

同じ品質の商品価格は同一であるという「一物一価の法則」によると、価格での競争になつたらその品質を下げない限り競争相手には勝てません。こうして果てしない競争が続いていくことをロツチデール公正先駆者組合は知っていたのです。

価格で競争しないかわりに良質で確かな量目の商品を適正な価格（市価）で提供する。これがロツチデール公正先駆者組合の精神でした。そして設立から16年後、ロツチデール公正先駆者組合の出資者は3450人にまで拡大していました。

現在、自由競争を尊重する風潮が強くなっていますが、本当にそうなのでしょうか？競争しないことの意味を改めて考えてみると必要かもしません。



ロツチデール公正先駆者組合の創始者のうち13名の写真



支 出		令和5営農年度実積			令和4~5年度差額			(単位:千円)
項目	年別	R5実積	R4実積	前年比	前年差額	R5計画	進捗	(差異要因)
50 労賃		433,657	427,970	101%	(+5,687)	874,221	50%	
51 肥料費		359,617	240,650	149%	(+118,967)	426,093	84%	肥料価格高騰
52 種苗費		64,680	56,630	114%	(+8,050)	90,560	71%	
53 農薬費		60,237	52,441	114%	(+7,796)	74,562	81%	
54 飼料費		3,264,787	2,797,716	116%	(+467,071)	5,799,380	56%	飼料価格高騰
△TMRC		(2,134,278)	(1,827,404)	(117%)	(+306,874)	-	-	
55 養畜費		481,447	460,050	104%	(+21,397)	878,552	55%	
56 素畜費		5,577	8,077	69%	(△2,500)	12,600	44%	
57 生産資材費		67,926	52,384	129%	(+15,541)	129,763	52%	
58 農業共済掛金		161,371	152,890	105%	(+8,480)	213,232	76%	
59 貸料料金		628,413	599,576	104%	(+28,837)	1,434,177	44%	
61 修理費		200,484	164,181	122%	(+36,302)	307,139	65%	
62 水道光熱費		161,834	158,275	102%	(+3,559)	321,546	50%	
63 営農車両費		146,653	146,811	99%	(△158)	297,356	49%	
64 支払利息		8,755	8,809	99%	(△53)	63,723	14%	
65 租税公課		42,065	59,735	70%	(△17,670)	128,265	33%	
66 諸負担金		25,476	22,191	114%	(+3,286)	80,495	32%	
67 その他経営費		116,669	106,215	109%	(+10,453)	213,003	55%	
農業支出		6,229,647	5,514,601	113%	(+715,046)	11,344,667	55%	
△TMRC農業支出		(4,790,011)	(4,247,816)	(113%)	(+542,195)	-	-	
70 農外支出		4	0	0%	(+4)	0	-	
71 家計費		91,887	94,237	97%	(△2,350)	182,972	50%	
80 賢金共済掛金		198,786	166,959	119%	(+31,827)	314,915	63%	
81 借入金返済		259,993	297,130	87%	(△37,138)	794,505	33%	つなぎ資金
82 資産取得		108,530	85,175	127%	(+23,355)	134,080	81%	
83 その他資産		78,793	0	0%	(+78,793)	0	-	
支出 計		6,967,640	6,158,103	113%	(+809,537)	12,771,139	55%	
△TMRC農業支出		(5,453,221)	(4,848,402)	(112%)	(+604,819)	-	-	

預り件数	40件	37件	108%	(+3件)	経費全般が増加傾向のなか肥料価格、飼料価格の高騰が顕著。経営形態を問わず資金繰り悪化が懸念されます。 乳価改定や諸対策による一定の增收効果はあるものの、昨年に続き非常に厳しい経営環境となっております。今一度、営農計画に基づく適正なクミカン運用について宜しくお願いいたします。
預り額	265,439	192,642	138%	(+72,798)	
貸越件数	30件	38件	79%	(△8件)	
貸越額	418,301	329,661	127%	(+88,640)	
差引	△152,862	△137,019		(△15,842)	

令和5営農年度 クミカン実績【JA全体】 令和5年1月1日～令和5年6月30日

収入		令和5営農年度実積			令和4～5年度差額		(単位：千円)	
項目	年別	R5実積	R4実積	前年比	前年差額	R5計画	進捗	(差異要因)
01 麦		0	0	0%	(+0)	19,760	0%	
02 豆類・雑穀		4,750	4,238	112%	(+512)	59,190	8%	
03 馬鈴薯		0	0	0%	(+0)	76,370	0%	
04 てん菜		0	0	0%	(+0)	46,710	0%	
05 青果・そ菜		156	47	331%	(+109)	212,330	0%	
06 その他農産物		5,976	3,052	195%	(+2,924)	73,162	8%	
07 過年度産農産物		36,859	51,493	71%	(△14,634)	109,956	34%	
農産収入		47,742	58,830	81%	(△11,088)	597,478	8%	
10 生乳		3,576,280	3,433,147	104%	(+143,132)	6,750,780	53%	乳価上昇
11 乳用牛		250,363	263,374	95%	(△13,011)	437,047	57%	市場価格低迷
12 肉用牛		83,009	83,263	99%	(△254)	185,420	45%	売却頭数増加
13 TMR受入飼料		1,405,322	1,179,141	119%	(+226,180)	2,726,000	52%	価格高騰
14 鶏・卵		0	0	0%	(+0)	0	-	
15 その他畜産		487	185	262%	(+302)	660	74%	
畜産収入		5,315,460	4,959,111	107%	(+356,349)	10,099,907	53%	
△TMR受入飼料		(3,910,138)	(3,779,970)	(103%)	(+130,169)	(7,373,907)	(53%)	
20 受入共済金		130,774	125,758	103%	(+5,016)	238,632	55%	
21 受入補助金奨励金		295,522	148,233	199%	(+147,289)	559,634	53%	情勢悪化に伴う諸対策
22 受入賃貸料		21,540	24,438	88%	(△2,898)	78,365	27%	
23 農業雑収入		165,939	141,768	117%	(+24,170)	166,250	100%	
農業収入		5,976,977	5,458,138	110%	(+518,839)	11,740,266	51%	
△TMR受入飼料		(4,571,655)	(4,278,997)	(107%)	(+292,659)	(9,014,266)	(51%)	
30 農外収入		92,955	2,562	3627%	(+90,393)	29,362	317%	農地売却
40 資金借入		12,270	84,600	14%	(△72,330)	40,560	30%	SN資金
41 資金受入		719,440	465,206	154%	(+254,234)	818,505	88%	前期繰越増
42 その他負債・資本		13,136	15,279	85%	(△2,143)	17,318	76%	
収入 計		6,814,778	6,025,786	113%	(+788,993)	12,646,011	54%	
△TMR受入飼料		(5,409,457)	(4,846,644)	(112%)	(+562,813)	(9,920,011)	(55%)	
生乳生産量		33,539t	34,136t	98%	(△597t)	62,475t	54%	
(組勘取引)		(32,826t)	(33,259t)	(99%)	(△433t)	(61,065t)	(54%)	
乳代単価		108.9円	103.2円	106%	5.7円	110.6円	99%	
(控除後)		100.1円	94.8円	(106%)	5.3円			



「乳牛と暑熱」を考える

十勝農業改良普及センター十勝南部支所

表1 THIの計算方法

$$THI = 0.8 \times \text{気温} (\text{°C}) + 0.01 \times \text{湿度} (\%) \times (\text{気温} (\text{°C}) - 14.4) + 46.4$$

2 湿度も大事

暑熱というと「気温が高い」というイメージが高い」というイメージが

4 暑熱と乳量の関係

暑熱により乳牛の体調が崩れると、まず乳量に影響が出でます。

図2は、令和3年に忠類の牧場で計測した温湿度と乳量の関係を示したもので、THI 72を超える時間が多いほど個体乳量が減少していることが分かります。THI 72を超えたことが分かれます。6月初旬には乳牛が不快に感じる気候になつていると見えます。

暑熱は乳牛にとって大きなストレスです。カーテンを開けて牛舎の開口部を大きくする・乳牛に直接風を当てるることは基本的かつ効果的な暑熱対策です。人間も乳牛も元気に夏を乗り切りましょう！ 詳しい対策や疑問点はお気軽に普及センターへご相談下さい。



写真1 大きく開けられたカーテン

近年の気温上昇により、北海道でも本州並みの気温が観測されるようになつきました。人間の体調はもちろんですが、乳牛の体調も心配です。人間よりも暑さに弱いと言われる乳牛が健康に過ごせるよう、早い時期から暑熱対策に努めていきたいものです。

1 乳牛が不快に感じるとき

人間と乳牛では、感じる「暑さ」が全く違います。では、乳牛の感じる暑さを知るにはどのようにすればよいのでしょうか。

暑熱によるストレスを表す指標として、THI（温湿度指数）が用いられます。生産現場ではTHIメーターが広く活用されていますが、計算方法は表1の通りです。

乳牛は、THI 65以上でストレスを感じ始め、THI 72以上になると強いストレスを感じます。

強いても、気温だけでなく湿度も重要な要因です。
例えば・・・

天気が良く、暑い日。気温30°C・湿度30%とすると、THIは75になります。対して、少し肌寒い雨の日。気温は24°C・湿度95%の場合でも、THIは75になります。どちらも、乳牛が強いストレスを感じる条件です。

人間にとつては、気温の低い雨の日の方が過ごしやすそうですが、乳牛にとつてはどちらも同じくらい不快なのです。

3 「暑さ」はどうかじら?

では、いつ頃から乳牛が暑いと感じる気候になるのでしょうか。

図1は、令和3年6月8日の広尾アメダスデータを用いたTHIの推移です。

THIを表す棒グラフから、この日は3時間ほどTHIが72を超えたことが分かります。6月初旬には乳牛が不快に感じる気候になつていると見えます。

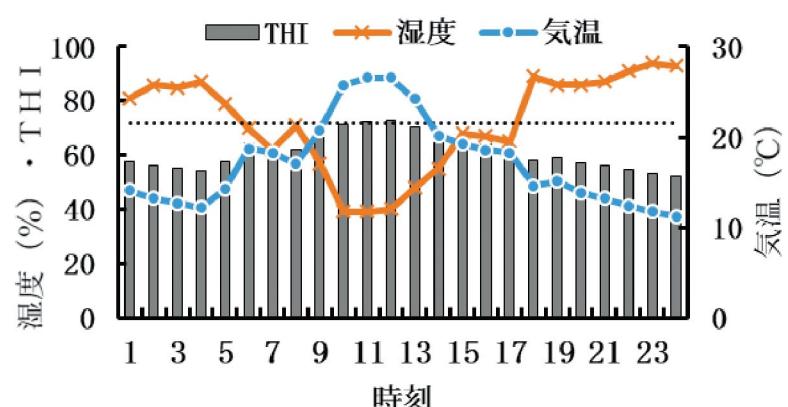


図1 1日のTHI推移 令和3年6月8日 (広尾アメダスより)

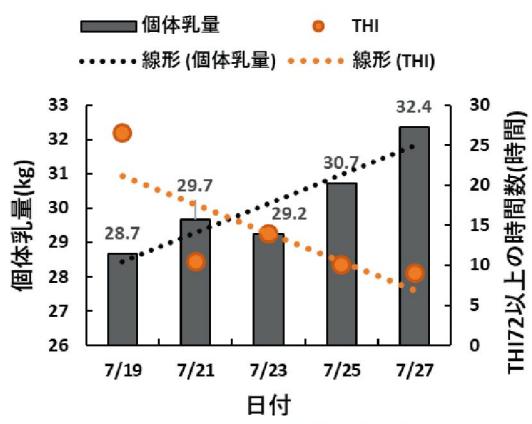
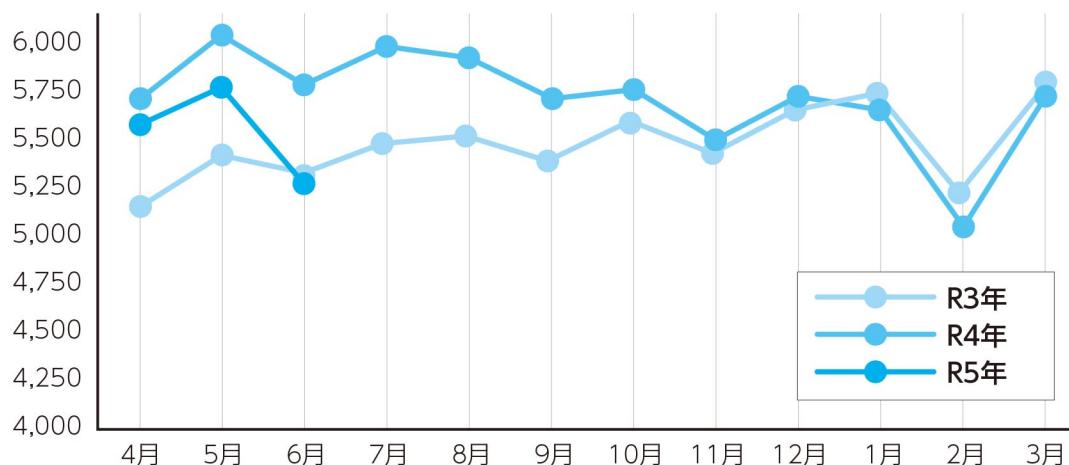


図2 暑熱が乳生産に与える影響

生乳生産状況表



ホクレン十勝家畜市場だより



乳牛

- 売買頭数: 501頭 (成立89.3%)
- 平均価格(税込): 401千円 (先月比↓28、前年比↓136)

相場予想

先月の平均価格は、夏分娩が中心となり、導入意欲が減退したことから、弱含みで推移した。今月について、本格的な署熱期の導入となり、導入需要は一定の更新重要に留まることから、相場は弱含みで推移することが予測される。

乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移

(R3年度: 青、R4年度: 赤、R5年度: 黒)



黒毛和種・F1

結果速報

●売買頭数

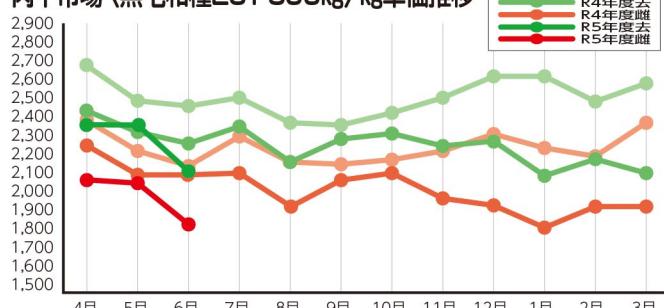
- 黒毛和種去勢 **1,089頭** (成立90.8%)
- 乳用交雑種去勢 **1,694頭** (成立93.5%)
- 黒毛和種雌 **857頭** (成立90.3%)
- 乳用交雑種雌 **1,607頭** (成立94.0%)

●kg単価

- 黒毛和種去勢 **2,079円** (先月比 ↓236)
- 乳用交雑種去勢 **1,011円** (先月比 ↑4)
- 黒毛和種雌 **1,809円** (先月比 ↓236)
- 乳用交雑種雌 **816円** (先月比 ↓22)

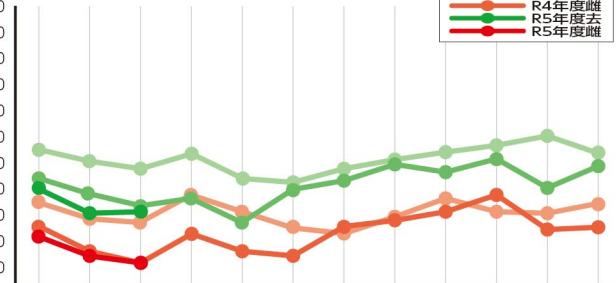
肉牛市場〈黒毛和種251-300kg〉kg単価推移

(R3年度去勢: 緑、R3年度雌: 橙、R4年度去勢: 赤、R4年度雌: 黄、R5年度去勢: 青、R5年度雌: 紫)



肉牛市場〈F1〉kg単価推移

(R3年度去勢: 緑、R3年度雌: 橙、R4年度去勢: 赤、R4年度雌: 黄、R5年度去勢: 青、R5年度雌: 紫)



フローレフレみかんゼリー

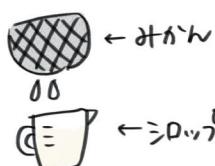


材料

- ・みかん缶 300~400g
- ・スキムミルク 50g
- ・砂糖 大さじ1~2
- ・オリゴ糖 大さじ1~2
- ・ゼラチン 10g



1 みかん缶は、シロップとみかんを分ける。



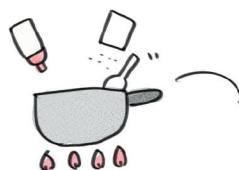
2 ①のシロップは、水と合わせて500mlにする。



3 ②のなべにスキムミルクを入れて、よく混ぜてから火にかける。スキムミルクを完全に溶かす。



4 ③にオリゴ糖と砂糖を入れて混ぜる。



5 ④から100mlを取り出し、80度以上になら様に、電子レンジで温めてゼラチンを加える。



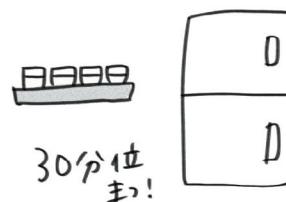
6 ⑤を④のなべに戻す。戻した後へらで混ぜる。



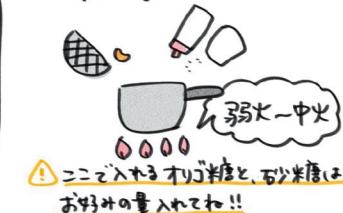
7 ⑥を、容器に入れる。2/3の量位まで入れる。



8 ⑦を冷蔵庫に入れて冷めし、7~8割ほど固まるまで待つ。



9 ①のみかんを鍋に入れ、そこにオリゴ糖と砂糖を加え、水分を半分ほど煮こむ。



10 煮つけたら、ゼラチンを加えてよく溶かす。



11 鍋のま、常温に冷やす。



12 ⑧で冷やしておいた容器に⑨を乗せて、さらによく冷やす。



13 完成!
フローレフレみかんゼリー!



絵: 友西このみ